


分野	32	人権	<b>通番 60</b>
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	人権教育・啓発推進事業		会計	款	項	目	1,354,656	生涯学習課
			一般	10	1	3		
事業の概要								
全ての市民の基本的な人権が守られ個性と能力を發揮することができる社会を目指し、全市民を対象とし「人権啓発作品の募集」と「人権問題研究市民集会」の開催を行います。								


令和元年度の取組							
D (取組)	指標	「人権問題研究市民集会」の参加者数及び人権啓発作品応募者の総数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	5,000	5,000	5,200	5,200	5,200
	4,941 (平成26年度)	実績	5,285	5,256	5,501	4,769	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月3日に社会教育関係団体指導者研修会「ネットトラブルを疑似体験しよう!」を開催しました。</li> <li>・人権啓発作品を募集し、2月15日に開催した人権問題研究市民集会で、入賞作品の表彰ならびにヒューマンステージを行いました。人権啓発作品については、学校への呼びかけや、他部署と連携し、関連事業に募集ブースを設けるなど、積極的に広報活動を行いました。結果、4,523人から4,945件の応募があり、児童をはじめ数多くの市民に人権について考える機会を設けました。</li> </ul>					人権問題研究市民集会の様子 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和元年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—		—
C (評価)	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(社会教育関係団体指導者研修会) ネットトラブルについて体験を通して正しい知識を得ることは、参加者にとって強く印象を受けるものとなりました。</li> <li>・(人権啓発作品募集) 市内の小学校・中学校・高校、大学等に協力を依頼し、多くの応募がありました。なかでも、広報を工夫することで一般市民からの応募が増えました。一方で、部門の見直しを行ったため、全体の応募数は減少しました。</li> <li>・(人権問題研究市民集会) 200人以上の市民の参加がありました。</li> </ul>	
	課題等	・人権啓発作品の募集について、次年度以降も参加者数が維持・増加するよう取り組む必要があります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	・長岡京市人権啓発推進協議会や学校関係者、社会教育関係団体等と協議を進めながら、人権問題研究市民集会の実施方法や人権啓発作品募集の内容を検討します。また、人権啓発作品の展示などの活用を通して、人権啓発イベントへの参加者の増加につなげます。

分野	32	人権	<b>通番 61</b>
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>北開田会館運営事業</b>		会計	款	項	565,648	北開田会館
			一般	3	1		
事業の概要							
人権問題解決に向け関係行政機関及び隣保館連絡協議会等と連携するとともに、住民の総合的な生活相談に応じ、自立支援のための適切な指導・助言を行います。							


令和元年度の取組							
D (取組)	指標	北開田会館における人権啓発事業の利用人数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	3,208 (平成26年度)	目標	3,300	3,400	3,500	3,600	3,700
		実績	3,268	3,984	4,104	4,532	
<ul style="list-style-type: none"> <li>習字教室(44回)、男の料理教室(2回)、ウォーキング教室(7回)、ヨーガ教室(9回)、カレンダーを作るパソコン教室(4回)、陶芸教室(3回)、京文化教室(4回)、ゲートボール教室(1回)、囲碁将棋教室(43回)、手づくり教室(3回)を実施しました。</li> <li>高齢者の健康維持を目的としたデイサービス事業を10回(健康体操と給食サービスを9回、防災講習と給食サービスを1回、寄植教室を2回)実施しました。</li> <li>人権教育指導員による各種人権研修を開催しました。</li> </ul>					手作り教室		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和元年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		—	—		—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>北開田会館事業として文化教養教室の参加者が増加傾向にあります。</li> <li>地域の老人会が北開田会館を利用して活動されたことで、利用人数は増加しています。</li> </ul>		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者が少ない教室があるため、内容を検討し、参加者を増やす取り組みが必要です。</li> <li>参加者の高齢化、固定化している教室が多いため、広報活動(北開田だより・各教室のチラシ)を工夫するとともに、新たな参加者を増やす取り組みが必要です。</li> </ul>					

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の少ない教室について、内容や方法等を検証し、ニーズに対応した教室を実施することで参加者の増加に取り組みます。</li> <li>地域の高齢化が進んでいることから、引き続き、地域包括支援センターや防災・防犯担当等の関係機関と連携し、健康の維持増進や、認知症予防・介護予防の教室、防災・防犯の教室を開催するなど、地域の見守り体制の強化につながる事業を実施し、生活相談や自立支援のための適切な指導・助言を行う機会を増やします。</li> </ul>

分野	32	人権	<b>通番 62</b>
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>平和施策推進事業</b>		会計	款	項	目	294,279	人権推進課
			一般	2	1	16		
事業の概要								
戦後70年以上が経過し、戦争体験が風化しつつある中で、地域の戦争体験(神足空襲)や戦争の悲惨さを伝え、平和の尊さやいのちの大切さを考える機会を提供することが必要です。そのため、行政として中立的な立場から「平和を考える市民フォーラム」を中心とするイベントを行うとともに、インターネットを利用して戦争・平和に関する資料を掲載し啓発する「平和博物館(仮)」を開設・運用することにより平和施策を推進します。								


令和元年度の取組							
D (取組)	指標	平和へのメッセージの参加者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	216(平成26年度)	目標	240	260	280	300	320
		実績	221	310	221	310	
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争の悲惨さと平和の大切さを市民に伝えるため、7月13日に「平和を考える市民フォーラム'19」を開催しました。(参加者数延べ1,271人)。</li> <li>○京都府立乙訓高等学校生徒の総合司会による式典</li> <li>○広島平和記念資料館前館長の志賀賢治氏による講演</li> <li>○京都府立西乙訓高等学校生徒による、平和に関する創作劇の披露</li> <li>○平和祈念碑、戦没者追悼之碑への献花 ○すいとんの試食と資料展示</li> <li>○昔のくらしとおやつの体験コーナー ○絵本の読み聞かせ</li> <li>○市内高校生が制作した、平和に関するポスター等の展示</li> <li>・平和メッセージの募集を行い、フォーラムで展示しました。</li> <li>・平和を祈る折り鶴を募集し、折り鶴はフォーラムにて展示及び平和祈念碑へ献納後、広島市の原爆の子の像に献納しました(参加者数1,949人)。</li> <li>・5月28日に、長岡第五小学校で、平和ビジョン懇談会前会長の小林啓治氏による平和学習を行い、フォーラム当日に学習内容を展示しました。</li> <li>・平成30年度に開設した、戦時資料や平和啓発教材を市ホームページにて閲覧できる「長岡京市バーチャル平和祈念館」について、平和コラムの執筆や、関連機関紹介のためのリンク先の掲載等、内容の充実に努めました。</li> </ul>					「平和を考える市民フォーラム'19」での志賀賢治氏による講演会  		

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和元年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁	
		—		—		—
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典での総合司会、平和に関する創作劇の披露、平和メッセージや平和に関するポスターの制作、小学校での平和学習等、多くの場面で若年層の市民に広く参加・参画いただくことで、次世代に平和の大切さを伝えるという目標を達成することができました。</li> <li>・指標である平和へのメッセージの参加者数については、昨年度の221人を大きく上回り、市民に広く啓発を行うことができました。</li> </ul>		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の参加者は約150人でしたが、若年層の参加者が少ないため、引き続き、若い世代に関心を持ってもらえるよう、企画、内容、広報等に工夫が必要です。</li> <li>・長岡京市バーチャル平和祈念館について、平和コラム等の更新の内容を、若年層にも親しみやすいものになるよう工夫する等、若い世代の活用を促進する取り組みが必要です。</li> </ul>					

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度の「平和を考える市民フォーラム」は中止となりましたが、講演会については、日程を変更して開催する予定です。</li> <li>・長岡京市バーチャル平和祈念館について、平和コラムの更新、資料のアップロード、関連機関のリンク先の掲載等、内容の充実に図るとともに、市内学校が、より主体的に平和学習の教材として活用できるよう取り組みを進め、若年層の平和意識の醸成を図ります。</li> </ul>

分野	32	人権	<b>通番 63</b>
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>障がい理解・合理的配慮提供促進事業</b>		会計	款	項	目	166,446	障がい福祉課
			一般	3	1	10		
事業の概要								
障がい者差別の解消や理解促進を図るため、障がい特性の理解と合理的配慮の事例を学ぶ機会の創出や、主体的に行動できるサポーターづくりに取り組みます。								

令和元年度の取組								
D (取組)	指標(H30年度～)	障がい特性理解のための研修を受け、「あいサポーター」となった市民・事業者の数				単位	人、団体	
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
	平成30年度 新規事業	目標	/			300	600	1,000
		実績	/			270	719	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「誰もが共に自分らしく暮らす長岡京市障がい者基本条例」の趣旨に基づき、平成30年5月に鳥取県と「あいサポート運動の連携推進に関する協定」を締結したことを受けて、障がいについて理解を深め、障がいのある方に対しての手助けや配慮等を実践するあいサポーターの養成を通じて、誰もが暮らしやすい社会を目指すあいサポート運動を推進しています。</li> <li>ホームページや広報紙に合理的配慮の取組みやあいサポート運動の概要を掲載し、啓発を行いました。</li> </ul>					あいサポート研修			
								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和元年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員、団体、企業、市民を対象に計14回のあいサポーター研修を実施しました。その結果、449人のあいサポーターを養成し、障がいのある方に対する手助けや配慮を行うことができる人材の創出ができました。</li> <li>あいサポーター研修を受講しあいサポート運動の普及等に積極的に取り組んでいた企業に対して認定してきた「あいサポート企業」を、任意団体やサークル等も含めて「あいサポート企業等」として認定することとし、あいサポート運動を推進しました。その結果、5企業、7団体(前年度の遡及適用含む)を「あいサポート企業等」に認定しました。</li> <li>あいサポーター研修において、接客で使う手話学習を取り入れる等、団体のニーズに合わせた研修内容を行うことができました。</li> </ul>	
課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいを理由とする不利益取り扱いの解消や合理的配慮の提供を促進するため、継続して周知啓発していく必要があります。</li> <li>誰もが暮らしやすい長岡京市を実現するために、障がいのある方に対し配慮できるあいサポーターのさらなる養成が必要です。</li> </ul>		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、市民・事業者・団体等へ積極的に周知啓発を行い、障がい理解の向上に努めます。</li> <li>あいサポーター養成の拡大に向けて、あいサポーター研修の情報発信に取り組み、研修参加者を増やす取り組みを行うとともに、参加者のニーズに合わせた研修内容を企画します。</li> <li>従来の講演会形式ではない研修の手法を新たに構築します。</li> </ul>